

鈴木刺繍



最長4m50cmの連続柄刺繍を低コスト小ロットで対応

寝具から皮革製品まで繊細な刺繍で高付加価値を実現

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応

【業務内容】高レベルの刺繍技術を活かし、多様な顧客開拓を推進

「鈴木刺繍」は創業者の鈴木ミサヲ代表が婦人服縫製事業からスタートし、昭和54年から刺繍加工に転身。当初はアパレル商品への刺繍が中心だったが、現在は寝具や服飾雑貨を中心に、ランドセルなどの皮革製品への刺繍も手がけている。

また、オリジナルデザイン力が評判で、企業やチームのユニフォームやハンカチなどへの名入れやオリジナルロゴの刺繍、個人が描いた絵画の刺繍作品など、さまざまな依頼が舞い込む。高級ベビー布団など高い技術の求められる商品が持ち込まれることも多いため、品質管理は徹底している。

【強み】顧客の要望に応じた独自デザインをイメージ通りに

業界では、素材や用途に特化した刺繍加工事業者が多い中、多様な依頼に幅広く対応できるデザイン・技術力が当社の強み。糸の太さの変化による立体感や、スパンコール・ラインストーンなどの装飾部材を取り入れることも可能。顧客の要望を細やかに聞き取り、糸と素材の相性も踏まえ、イメージ通りのデザインで刺繍を完成させている。

デザインは鈴木代表の長女の鈴木加代子企画部長が担当。「社長の肉筆を反映したい」というオリジナルフォントでの作業着の名入れなど、他社で断られた依頼にも柔軟に対応し、事業の幅を広げている。

【独自技術】つなぎ目のない連続柄刺繍を低コストで実現

特徴的な技術は、最長4m50cmまで可能な大柄の刺繍加工。従前、同社では最大40cm×55cmと、他社と比較すると大柄の

刺繍に対応していたが、布団カバーなどの用途で、さらに大柄の刺繍ニーズがあるため、平成26年に連続柄対応の刺繍機を導入した。

一般的に、連続柄刺繍機で大柄の加工をするにはパターンのつなぎ目にズレが生じるため、高額の専用機が必要で、そのため加工コストが高額となっていた。それに対して、同社では独自ノウハウで高品質の連続柄刺繍を低コストでかつ小ロットにも対応する技術開発に成功した。

【今後の展望】技術力を積極アピールし、さらに顧客層を広げる

多様な受注に対応することで技術デザインノウハウを蓄積するとともに、加工能力の高い新型のコンピューター・ミシンも積極的に導入していくことで、企業力の強化を進めていく。鈴木部長は「機械があれば加工ができるわけではなく、使いこなせるノウハウが必要」と自社の技術力に絶対の自信を持つ。

さらに成長するために「技術の売り込みを積極的に行いたい」と鈴木部長の長男で次期社長の鈴木健太郎営業部長は話す。小ロット対応できる機動力を生かし、スポーツチームやオリジナル雑貨の製造など個人客市場の開拓も加速させる。



ランドセルなど皮革製品にも刺繍



スパンコールなどの装飾も可能

当社の歴史



昭和25年に縫製工場を設立、高度成長期の昭和54年に刺繍加工へ参入しました。衣料品や寝具、服飾雑貨、皮革製品など、さまざまな製品への刺繍を手がけています。大量生産品から個人向けの一点モノまでロットを問わず、オリジナルのデザイン制作を行うなど、細やかな対応を行います。

代表 鈴木 ミサヲさん

<http://sewingstudiosuzuki.wixsite.com/sewingstudiosuzuki/>

主な事業内容

布製品や皮革製品、ナイロン製品などへの刺繍加工

主な取引先(納入先)

寝具メーカー、アパレルメーカー、皮革製品メーカー、一般客など

●住所 〒571-0015 門真市 三ツ島1-34-11
●TEL 072-884-1650
●FAX 072-882-0386
●創業 昭和23年4月
●設立 昭和54年4月
●資本金 500万円
●従業員 8名